

阿智村政 55 周年記念事業

2011 日本エコミュージアム研究会全国大会

in 阿智 (第17回)

阿智の全村博物館構想をつうじてエコミュージアムの原点を考える

2011年10月22日(土)・23日(日) 長野県阿智村

主催 日本エコミュージアム研究会全国大会阿智村実行委員会

(阿智村・日本エコミュージアム研究会・阿智全村博物館連絡会・あっちっちはん中人連合・阿智学会・古道ウォーク実行委員会・阿智村教育委員会・阿智村公民館・阿智村商工会・阿智村観光協会・8自治会)

エコミュージアムって何?…

「エコミュージアム」の「エコ」はギリシャ語で『家庭（生活空間）』のこと。「ミュージアム」はご存じのとおり『博物館』です。つまりエコミュージアムとは『生活空間まるごと博物館』という意味です。

このことばは40年前にフランスで生まれました。フランス語で「エコミュゼ」といいます。阿智村では「全村博物館」と呼んでいます。



阿智全村博物館
あっちっちはん中人連合



ご挨拶

このたび、長野県阿智村で日本エコミュージアム研究会全国大会（第17回）を開催します。昨年度は、日本で最初のエコミュージアムを立ち上げた山形県朝日町において、朝日町エコミュージアム20周年を記念した全国大会が開催されました。大会では、朝日町ならびに東北のエコミュージアムをつうじ日本のエコミュージアムの多様な展開の一端を概観いたしました。

今回、私たちは、朝日町の大会を受け、それをさらに一步進め、「エコミュージアムの原点を考える」という課題を設定し、阿智の全村博物館や信州周辺の活動を議論の材料としてエコミュージアムの本質について考えてみたいと思います。

ご存じのように開催地周辺には、阿智の全村博物館構想をはじめ、飯田下伊那地方の地域研究者による伊那谷まるごと博物館活動、飯田市のエコツーリズム、中仙道の町並み保存運動などが展開されています。これらはエコミュージアムと共通する要素を持っていますが、それぞれ独自の目的・内容・手段・経緯のもとに運営されてきました。これらを概観しエコミュージアムが目指すところは何かを議論したいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

全国大会阿智村実行委員会 大会長 岡庭一雄
日本エコミュージアム研究会 会長 大原一興

スケジュール・会場・行事の目的・行事の内容

10月22日（土）

時 間	会 場	目的	目 標	内 容
9:00		・阿智エコミュージアムの進化の過程を体感しよう	明治から続く古代東山道の復興運動の跡を辿る	特別企画：国県村指定史跡等遠望コース（一日コース） ①古代東山道・網掛峠ウォーキングコース (朝9時に昼神温泉駐車場に集合～16:00宿舎)
12:30	中央公民館ロビー		阿智ってどんなところ？ 映像で概要を知る	受付開始
13:15	公民館ホール			阿智村紹介映像 上映（8つのコースと熊谷元一の写真）
13:30			大会の目的を確認し始まりを宣言！	開会行事： 大会長挨拶・実行委員長挨拶
13:45	村内各地		各地区のあっちゅう熱中人達が、いくしみ育てている8つの探訪コースを、みんなで歩いて体感する	阿智村の“せけんいさん”遺産探訪コース（半日コース） ②春日コース ③駒場コース ④伍和コース ⑤智里東コース ⑥智里西（園原）コース ⑦浪合コース ⑧清内路コース ※希望コースを3つ選択しお申込み下さい。応募に偏りがある時は事務局で調整。必ずしも希望どおりにならないことがあります。
17:30	昼神温泉「鶴巻社」		昼神温泉を体感！	宿舎へ到着
18:00	鶴巻 大広間		8コースの体験を共有！	夕食&交流会 各コースのマイクリーレポート
20:00	栗矢の回り舞台		夜中にこんなことしてるあっちゅう人もいるんだ…！	栗矢の無礼講 見学（バス送迎～21:30）

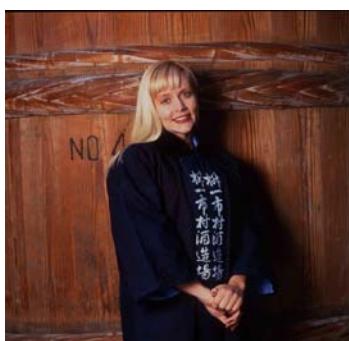
10月23日（日）

	昼神の朝市広場	・・信州のエコミュージアムの本質を語ろう！？	阿智の元気の源、昼神を覗く	自由参加行事 早朝より昼神の朝市があります。ご自由にご参加を…
7:00	昼神温泉「鶴巻社」			朝食
9:00			北信一小布施の町づくりを知る	特別講演： 小布施のまちづくり（講師：セーラ・マリ・カミングス）
10:30			南信州・木曾・三河のエコミュージアムを知る	趣旨説明及び事例報告 ①馬籠の街づくり ②伊那谷自然友の会と博物館 ③木沢地区的地域づくりと飯田市のエコツーリズム ④その他
12:00	コミュニケーション館（バス移動）		阿智村伍和のお母さん達の元気を食べる	昼食（伍和食堂の弁当）
13:00			世界のエコミュゼと阿智のエコミュゼの同異を確認し、そこからこの運動の原点や本質を探る	基調報告 世界と阿智のエコミュージアムその理論と実際
13:30				シンポジウム 阿智の全村博物館構想をつうじてエコミュージアムの原点を考える
15:00			大会の成果と課題をまとめ、次年度開催地にバトンタッチ	閉会行事 15:30までに終了
16:00	はゝき木館（バス移動）			オプショナルツアー： はゝき木館企画展見学

特別講演：「小布施のまちづくり」 講師：セーラ・マリ・カミングス（10月23日午前9時 コミュニティ館）

小布施のまちづくりで全国的に有名なセーラ・マリ・カミングスさんの話を聞きます。

SARAH MARIE CUMMINGS
セーラ・マリ・カミングス



- | | |
|----------|---|
| 1993年05月 | ペンシルベニア州立大学卒業 |
| 1994年06月 | ㈱小布施堂に入社、経営情報室を立ち上げる |
| 1996年01月 | 唎酒師認定 |
| 1998年10月 | ㈱一「藏部」レストランを開く・小布施堂、㈱一市村酒造場 取締役就任 |
| 1999年12月 | 日本酒造組合中央会 日本酒青年協議会員就任(外国人メンバー第一号) |
| 2001年08月 | 「小布施ッショーン」(Obusession) 文化サロンをスタート、
日経ウーマン誌が選ぶ「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2002」大賞受賞 |
| 12月 | 桶仕込み保存会を発足 |
| 2002年01月 | (財)日本青年会議所主催 人間力大賞2003 地球市民財団特別賞受賞 |
| 2003年07月 | 「小布施見にミニマラソン」(Obuse mini Marathon) 実行委員長
“海のない小布施に、波をつくる”と題し誰でも出来るマラソン（21km）
を企画運営（2011年はチャリティー大会として第9回目を開催。） |
| 07月 | ㈱文化事業部設立 代表取締役就任 |
| 2004年04月 | ㈱修景事業部設立 取締役就任 |
| 05月 | 日本酒造組合中央会代表幹事就任(初の女性代表幹事) |
| 2006年05月 | ㈱㈱一市村酒造場 代表取締役就任 |
| 2007年09月 | 宿泊施設「㈱一客殿」オープン |
| 2008年08月 | NPO法人桶仕込み保存会設立代表就任 |
| 12月 | 地域づくり総務大臣賞個人賞受賞 |
| 2009年 | ㈱文化事業部 農業活動を拡大 |
| 2011年08月 | 地瓦をKick Off(地瓦を再生するためのプロジェクトを本格始動) |

10月22日 阿智-8つの探訪コース



阿智村は、長野県の南端にあり、岐阜県や愛知県に隣接する山あいの村です。南信州最大の温泉郷である星神温泉があり、周辺には、古事記・日本書紀・源氏物語・枕の草子など日本の至宝ともいえる数々の古典文学に登場する園原の里、日本百名山のうち23座を展望できる富士見台、伍和の農村景観、雛人形がならぶ駒場の町並み、清内路の手作り花火、浪合の日本一の星空など多くの自然文化資源に恵まれています。また近年は社会教育の実践、活発な自治会活動など、協働の村として全国から注目されています。阿智村では、このような豊かな地域資源を村民自らの手で発見し、研究し、守り、学び、磨き上げ、活用していくことをする“阿智村版エコミュージアム運動”つまり「全村博物館構想」を官民一体となって進めています。

阿智村を構成する8つの地域のアッティチ熱中人達が自治会の支援のもとに様々な取り組みを行っており、今回、8つのコースメニューを用意しました。次第に活発化しつつある全村博物館構想の取り組みを見てもらしながら、世界や日本のエコミュージアムの原点を考え、このエコミュージアム運動をつうじて目指していくものをみんなで考えてみたいと思います。

阿智-8つの探訪コースのご案内

① 古代東山道・網掛峠ウォーキングコース (特別企画・一日行程・国県村指定遺跡等 遠望コース)

奈良～平安時代には阿智村を東西に縦断する官道「東山道」が通っていました。阿智駅と中津川の坂本駅の間は40kmもあり、東山道一の難所といわれる神坂峠と網掛峠が立ちはだかっていました。東山道は中世以降長らく廃道になっていましたが、明治時代に熊谷直一翁が私財を投げ打ち園原地区の古道を復興させました。まさに阿智全村博物館構想に先駆けた地域づくり運動でした。今回は網掛峠(971m)を越えるコース部分を歩きます。



まず、国指定史跡神坂峠遺跡を遠望する園原の里からスタートし、網掛山を越え、昼神温泉に戻ります。

【コース】徒歩による移動(古道ウォーキング)。一日コースです。

はつき木館→殿島(園原IC)→矢平→網掛峠→網掛山展望台(昼食)→中平→平林→阿智川→昼神温泉(16:00 着)

【注意】朝9時に昼神温泉駐車場に集合。お弁当・水筒・保険証等を持参。雨天の場合、コース変更の可能性あり。

② 春日コース (穏やかに田舎・半日行程・田園景観探訪コース)

春日は中関、上中関から成り立ち、東山道、中馬街道が通り、栄えてきました。上中関では、木槌薬師の参道整備などの様子をみながら里に下り、中馬街道の雰囲気をよく残す堅町を見ます。中関では、義士踊りの継承などの文化財保護の苦労話を聞き、大杉一帯の農村景観を展望し、狐塚古墳などを巡ります。



【コース】バスによる移動が中心です。

お薬師様→春日社→堅町→佐藤さんのトマトビニールハウス→狐塚古墳→合社→大杉

【ポイント】上中関では、トマトを、中関では、キュウリを試食します。

③ 駒場コース (および駒場中馬街道・半日行程・宿場町探訪コース)

駒場は、古くは東山道、江戸時代には中馬街道が通り、宿場町として栄えました。木戸脇のこどもの祭り「おいよわいよ」、全区で「中馬街道ひな祭り」が行われています。今回は、城山から駒場の町並みを一望し、奈良時代の鏡をもつ安布知神社、武田信玄終焉の地長岳寺、明治～昭和のにぎわいを残す銭湯屋周辺を巡ります。銭湯屋周辺はまさに保存か取り壊しかで揺れています。



【コース】バスによる移動が中心です。

城山→安布知神社→東山道阿智駅家跡推定地→うのはな坂→長岳寺→銭湯屋

【ポイント】古代～昭和の歴史ロマンに触れます！

④ 伍和コース (半日行程・写真に撮って美しい農村風景探訪コース)

伍和は起伏のある地形に昔ながらの農村景観が広がる地域です。雄大な南アルプスの山々も展望できます。夏～初秋にはもも、なし、りんごが実り、来訪者向けに撮影ツアーやコンテストが行われています。ハナノキやザセンソーネの保全運動、農家民泊、江戸時代後期の栗矢の回り舞台での無礼講などが行われています。



【コース】バスによる移動が中心です。

本棟造→備中原つつみ公園→斗字庚申→南アルプス遠望→果樹園→回り舞台

【見どころ】今回は伍和の本棟造の家にお邪魔します。伍和の果物試食付き。

⑤ 智里東コース (半日行程・温泉と東山道と中馬街道探訪コース)

昼神温泉のある智里東は、東山道と伊那（中馬）街道が通るなど歴史のあるところです。また、近年では、昼神温泉朝市、ヤーコン栽培、中馬街道の調査・整備事業などの地域おこしが進められています。今回は足湯にひとりながら、昼神温泉の成り立ちを聞いたり、東山道の大垣外遺跡や中馬街道の伊那一馬頭観世音を見たり、自治会が整備したカエデ街道を歩いたりします。

【コース】バスによる移動が中心です。



昼神足湯→伊那一馬頭観世音→大垣外遺跡・頭権現→ふれあいロード・カエデ街道

【ポイント】大垣外遺跡出土石製模造品の特別見学などあります。

⑥ 智里西・園原 コース (東山道と源氏物語のゆかりの地・半日行程・古典文学の里 探訪コース)

智里西地区は富士見台高原や月川温泉などがあり、春には花桃の里として、にぎわいます。智里西地区の園原は、古代東山道最大の難所神坂峠麓にあり、歌枕の地として、源氏物語や枕草子にも登場する古代文学の里です。園原ビジャーセンター「はゝき木館」を中心に整備を進めています。

【コース】現地では徒歩による移動が中心です。

はゝき木館→神坂神社→帚木→園原の里散策→月見堂・信濃比叡



【ポイント】信濃比叡での体験や、はゝき木館企画展「運ばれた平安時代の焼き物とその謎」の見学があります。

⑦ 浪合コース (半日行程・浪合学校の地域づくりと歴史ロマン探訪コース)

日本一の星空を観望できる浪合地区には、宮内庁管轄の尹良親王御墓があり、古くから中馬街道の宿場町として栄えました。塩沢匡一元村長の浪合方式で知られた治部坂高原の別荘地開発や、全村博物館構想に先駆けて登場した「村の全てが浪合学校」の理念による学校など、浪合の歴史ロマンや今なお現在進行形で続いている地域づくりの様子を垣間見ます。



【コース】バスによる移動が中心です。

浪合神社(尹良親王関係の史跡巡り)→浪合学校→浪合フォーラム→浪合閑所→治部坂高原で紅葉を見ながら休憩

【ポイント】治部坂高原の紅葉は素敵です。

⑧ 清内路コース (半日行程・出づくりの里探訪コース)

清内路地区は東西 9.1km、南北 9.3km の菱形をしている小さな山里です。かつては、集落から遠く離れた耕地の付近に小屋を立て、数ヶ月間移り住んで農作業を行い、収穫を終えた後、本拠とする集落に戻る生活慣行がありました。「出づくり」と呼ばれます。本コースでは、出づくりを行った小屋を訪れ、楽しかった話や苦労話など、今しか聞けない体験談を拝聴します。



【コース】バスによる移動が中心です。

「出づくりの村」映像視聴(清内路公民館)→清内路街道見学

(関所・觀音山・諏訪神社)→出作りの里にて語りべの体験話(平瀬・野田)→一番清水

【ポイント】語り部の話を聞きながら、漬物、キノコなどの清内路家庭料理も試食させてもらいます！

参加費・お申込み方法

○申込方法 必要事項記入の上、申込書は 10/7(金)必着で、下記住所までご郵送いただか、メールもしくはFAXにて事務局までご送信ください。

申込書送付の後、参加費等を送金下さい。

○参加費ほか ●大会両日参加費（資料代・保険料ほか）2000 円・一日参加費 1000 円（日本エコミュージアム研究会員の方は 500 円引）

※飯田下伊那在住の方及び阿智村民は参加費無料です。

●宿泊費（一泊二食付き 4~6 人の相部屋・22 日夜の夕食＆交流会参加費セット価格・入湯税込み）8150 円

●夕食＆交流会参加費（宿泊以外の方対象） 2500 円

●23 日昼食弁当代 800 円

○送金方法 申込書送付のち、参加費を下記振込先に振込下さい。尚、振込手数料は申込者負担となります。

みなみ信州農業協同組合阿智支所 普通 0018649 阿智全村博物館連絡会

※10月 19 日（水）までにキャンセルされた場合、参加費は全額お返ししますが、それを過ぎた場合は原則としてお返しできません。予めご了承下さい。

お問合せ・お申し込み

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場 483 阿智村役場協働活動推進課内

TEL:0265-43-2220 FAX:0265-43-2351 アドレス kyodo@vill.achi.nagano.jp

ホームページ <http://www.vill.achi.nagano.jp/muse> 詳細については、随時案内していきます。

交通アクセス

阿智村中央公民館・コミュニティ館まで高速バス利用

●大阪・京都から中央高速バス「伊那・箕輪」行き「駒場」下車徒歩 10 分

●名古屋から中央高速バス「飯田」「箕輪」行き「駒場」下車徒歩 10 分

●新宿駅西口から中央高速バス「飯田」行き「伊賀良」下車無料シャトルバスもしくは、信南交通駒場線

バス役場前下車無料シャトルバス（伊賀良 ⇄ 阿智村中央公民館）

22 日（土）伊賀良 12:01 着（新宿 8:00 発・23 日（日）はゝき木館経由で伊賀良 17:19 発

（新宿 21:15 着）にあわせてバス準備予定

阿智村中央公民館・コミュニティ館まで自動車利用

名古屋から中央自動車道（約 1 時間 30 分）→園原 I C →飯田方面へ約 9 キロ→阿智村中央公民館

八王子から中央自動車道（約 3 時間）→飯田山本 I C →阿智方面へ約 3 キロ→阿智村中央公民館

申込用紙

申込締切 10/7（金）必着

■記入欄が足りない場合は、申込書をコピーしてご利用ください。

参加者氏名	参加費 該当のものに丸 10/22 探訪コース 希望先	宿泊 8150 円（夕食 & 交流会参加費込） 宿泊する	夕食 & 交流会参加費 2500 円 (宿泊しない場合のみ丸めて下さい)	10/23 昼弁当 (800 円)	無料チャーター バス利用	
所属					22 日 (往路)	23 日 (復路)
どちらかに丸をして下さい 日本エコミュージアム研究会員・一般（非会員）	研究会員・両日 参加 1500 円	第 1 希望	参加	要	要	要
ご住所	一般・両日参加 2000 円	第 2 希望	宿泊しない		不要	不要
TEL	研究会員・1 日のみ参加 500 円	第 3 希望	不参加			
FAX						
E-mail	一般・1 日のみ参加 1000 円					
性別					合計金額	